

Nippon Electronic Device Industry Association

NEDIA

Magazine

2025
Summer

巻頭言

皆様へのご挨拶

世界の半導体産業は一大ブレイクの時代を迎えた

2025年度 半導体製造装置動向

2025年度後半の半導体市場を読む

日本電子デバイス産業協会誌

P 3 巻頭言

皆様へのご挨拶

鶴丸 哲哉 一般社団法人日本電子デバイス産業協会（NEDIA） 代表理事・会長

P 4 世界の半導体産業は一大ブレイクの時代を迎えた

～台湾 TSMC の巨大投資に注目、中国やインドも一気台頭の機運～

泉谷 渉 株式会社産業タイムズ社 取締役会長

P 7 2025 年度 半導体製造装置動向

和田木 哲哉 モルガン・スタンレー MUFG 証券株式会社
調査統括本部 マネージングディレクター

P 10 2025 年度後半の半導体市場を読む

津田 建二 株式会社セミコンダクタポータル 編集長

P 13 2025 年度の NEDIA の事業計画

NEDIA 事務局

表 3 Information

表 4 NEDIA 会員リスト

NEDIA



一般社団法人日本電子デバイス産業協会 (NEDIA)

代表理事・会長 **鶴丸 哲哉**

今回5月26日付で一般社団法人 日本電子デバイス協会 NEDIA の会長を拝命いたしました。よろしくお願いいたします。

さて、NEDIA は2013年に一般社団法人 日本半導体ベンチャー協会他、4団体を母体として設立されました。皆様もご承知のように「電子デバイス産業の川上から川下にわたる横断的な戦略機能を持つ組織」を掲げています。

2013年以来このもとに活動を続けて来ました。この間、会員の皆様の献身的な活動に支えられ、また外部の関係各位の方々にもご支援いただき今日に至っています。

設立以来、電子デバイスを取り巻く環境は大きく変化してきました。経済情勢の変化、技術の進歩、電子デバイスのアプリケーションの変化等々、大きな変動が起きてきました。本協会が設立された2013年は「アベノミクス」が開始し、当時の円ドル為替は80円でした。またアプリケーションはカーナビ、デジカメ、スマートフォンなどがありました。現在では円ドルの為替は140円台（2025年5月）ですし、アプリケーションの中心はAIやデータセンタが台頭しています。

これまでの10年からさらに私たちはこれからの10年に進んでいきます。

電子デバイスの大きな成長が期待されています。私たちはこのBig Waveに乗りたいと考えます。そのためには、技術の方向性やその意味を理解して進む必要があります。また世界を取り巻く状況が「予見性」が無い状況においては難しい舵取りになると思われれます。

その中で、NEDIAには電子デバイス、装置、材料、システム、サービスメンテ、人材エージェント等々、幅広い分野の会社が参画しています。また賛助会員では地方自治体をはじめとしている様々な団体の皆様が参画され、個人会員も参画されています。当協会の特徴あるいは強みはこの「多彩な会員の集まり」にあると考えます。

勝ち残るための戦略の中に「群れる」戦略と「ずらす」戦略があります。

「群れる」戦略で例えられるのは、魚が群れることによって大きな魚の形をとり、実際より大きな魚と対抗し勝ち残ることです。オープンノベーションもひとつの類型と考えられます。さらに単一ではなく多彩な魚が群れるときには、より大きな力を持つことができます。それはいろいろな考えを持ち寄れるからです。「多彩な会員」がいることは当協会の強みです。

また「ずらす」戦略は、これも例えると昼間に咲く花だけでなく、夜に咲く花もある。春に咲く花もあれば冬に咲く花もあることです。なぜ「ずらして」いるのでしょうか。それはいつにすべての花が咲けば、競合が多くなるからです。受粉のチャンスが少なくなると考えられます。しかし「ずらす」戦略は、競争を避ける消極的な戦略ではなく、賢い戦略です。多彩な会員がいるなかでは、時間だけではない「ずらす」のヒントがあります。

このような中で、NEDIA2025年事業計画には大きく分けて3つのことがあります。

①組織の拡大

先にも書きましたように会員数の拡大は私たちの強みになります。

②地域連携の強化と関係業界団体連携強化

地域軸として、東北、関東、関西、九州の4拠点でNEDIA DAY等々を開催しています。電子デバイスに関係する会社、大学等々は日本全国にありその数は、申し上げるまでもなく増えています。よって各地域での活動は当協会にとって益々、大切なものになって来ます。この活動をしっかりと推進していきたいと考えます。

また東京でのセミコンジャパン2025にも出展予定です。会員の皆様の立ち寄りをお願いするところです。

関係各位との連携につきましては、今後とも経済産業省を始めとして関係業界団体とも連絡、連携を図りながら進めたいと思います。

③会員連携のための部会 / 委員会活動の推進

ご存じのように各種の部会 / 委員会活動を展開しています。電子デバイス戦略マップの発行、電子デバイス研修講座の開催や分野別の活動も行っています。皆様の役に立てる活動にしていきたいと思っておりますので皆様のご鞭撻をお願いします。

末尾になりましたが、会員の皆様の益々の繁栄を祈念しております。

鶴丸 哲哉 (つるまる てつや)

1979年4月 株式会社日立製作所 入社
2008年4月 株式会社ルネサステクノロジ 執行役員生産本部長
2011年4月 ルネサスエレクトロニクス株式会社 執行役員兼生産本部長
2013年2月 同社 代表取締役社長
2016年6月 同社 代表取締役会長
2021年3月 同社 退職
2024年6月 住友精密工業株式会社 取締役
2025年4月 代表取締役社長執行役員 (現在に至る)
2025年5月 一般社団法人日本電子デバイス産業協会 代表理事・会長